

令和7年度 第1回岩見沢市まちづくり基本条例推進委員会 議事録（要旨）

●日時、出席者等

日時	令和7年9月24日（水） 午後4時00分～午後5時10分
会場	岩見沢市役所 2階会議室 2-4～2-6
出席委員等	委員9名
傍聴者	なし
事務局	4名

●議事録（要旨）

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議題

（1）岩見沢市まちづくり基本条例基本条例取組状況について

（事務局からの説明）

みなさまにお配りしております岩見沢市まちづくり基本条例取組状況につきましては、条例の基本的事項であります、情報共有、参加、協働の3つの事項に基づいて行っている市の事業を取りまとめたものでございます。事前に資料をお送りして内容をご覧になっていただいておりますので、変更箇所の説明にとどめ、詳細の説明につきましては省略させていただきます。なお、事前に資料をお配りした際に、内容や取り組みに対するご意見やご質問は、今回はいただいておりますませんでした。
—この後、変更箇所について説明—

（米内山委員長）

事務局から議題（1）の市の基本条例に係る取り組み状況について説明がありましたが、ただいまの説明に対して何かありますか。

（委員からの意見）

春先まで美唄の「未来クライム」というプログラミング教室に通っておりまして、それが非常に良かったです。どちらかというと子どもを対象にしたものですが、講師もプロのしっかりした方でした。専門性はそこまで高くなく、素人の方も多くいらっしゃるような事業ですが、ざくばらんに学ぶことができて非常に良かったです。子どもにとっても、プロの方から学んで将来に繋がられるようなすごくいい事業だったので、ぜひ岩見沢市でも同じような事業があればと思っています。

岩見沢ではスポーツ関連の事業が多いような印象を受けます。他にもプログラミングとか、IT関係みたいな事業もありますけど、もっと間口が広く、若い世代を対象にしたものもあるといいなと思いました。

（米内山委員長）

この「未来クライム」は教育委員会で主催しているのですか？

（委員）

主催者は市です。(主催：美唄市経済部経済観光課商工労働係) 株式会社イトナブの方が来てくれて、1 から全部教えてくれます。

(委員からの意見)

子どもたちにプロの方と触れ合える機会を作ってあげると、すごく刺激になっていいなと思います。サッカーとか野球とか、現役の選手やコーチの人を呼ぶということは大変なことかもしれませんが、そこから子どもたちが刺激を受けて、もっとスポーツができるようになったり、興味を持ったりすることに繋がるので、今のお話はすごくいいものだと思います。

(事務局)

お話しいただいた内容について市連絡掲示板に掲載し、周知いたします。

(委員からの意見)

今年も開催した、いわなび全館を使用したワークショップのイベントの「いわなびだめし」ですが、今年は 52 ブースで来場者が 1,000 人に達しました。規模はコロナ下前まで近づいたかな。というところです。

20 年程前、私の子どもが小学校のときに「キッズベンチャー」という市の事業が岩見沢にあって、子どもたちがグループで会社を作って、商品の仕入れや自分たちで作った手作りお菓子とかを販売したりする事業に参加していました。

キッズベンチャーでは、事前に管理、指導があり、社長や仕入れ担当などを決めて自分たちで商品を用意し、今のであえーるで販売して、最後は集計をして利益が出た場合はその利益分を戻してくれるという事業でした。

出資金は岩見沢市か主催者側から出ていたと思いますが、それを利益から返して残った分が自分たちの利益になる。そのような事業でしたが、今思っているのは「いわなびだめし」でキッズベンチャー的なこともやりたいなと思いつつ、そうなる事業が大きくなるため、実行委員会だけでできるのかな。という点もありますが、そういうこともやりたいなと思っています。

今、起業ブームであることから、何かそういう企業体験を子どもたちにしてもらいたいと思います。

(委員からの意見)

町内のゴミステーションの話ですが、皆さんカラス対策ってどうしてますか。困ってらっしゃらないですか。もし、対策されているのであれば、具体例を教えてくださいましたらと思います。

私の地域では、各班でゴミステーションを管理しており、私の班は予算の範囲内である程度何か物を買って、カラス対策をしておりますが、なかなかいいアイデアがありません。安価で効果があるものがあればと思いますが、各町内会や自治体でもそのような点で困っていないのでしょうか。

(委員からの意見)

幌向の高床式で扉付きの金網のゴミステーションは当たり前ではなかったのですね。

(委員からの意見)

カラスは金網の隙間や下からゴミをつつきますね。

(委員からの意見)

私は今、班長ですので掃除する立場ですが、板をゴミステーションの金網の中の下に敷き、囲える部分は囲んだところ、少し効果がありました。

(委員からの意見)

昨年、班長をしておりましたが、ゴミだらけになりゴミを片づけてくれと言われたことがありました。今年の班長と話し合って、板を囲いカラスの嘴が入らないようにしました。

(委員からの意見)

カルビーの傘下にあるフリトレイの方が仰ってましたが、カラスは人の声に敏感なので、例えば人の話が流れるNHKのラジオとか。そういった音声を流せばカラスは来ないって言われました。音楽番組だと駄目で、なるべく会話とか、そういう人が喋ったりする行為で来なくなる。これはネズミも同様です。食品を扱う倉庫にネズミだとか絶対入ってはいけませんよね。そのため、絶対試してください。と話を伺いまして、早速試しておりますが、今のところ来ていません。

(委員からの意見)

私はネットを組み合わせるしかないと思っています。最初は横から突いてくるだけだったのですが、カラスもだんだん頭が良くなり、下から突いてきます。そのため、下にもネットが通らないようなものが必要。

(委員からの意見)

私のところは板張りだから、板張りではないところがあることを知らなかった。結局自分のところしかわからないですね。ただ、お金も出していたと思います。多分、補助もあり町内でゴミステーションを整備しておりましたので、カラス問題に気がつきませんでした。そのため、私の町会では話題にはならないです。ゴミステーションには、箒とちりとりみたいなものを置いて、当番で掃除をすることとなっています。

(委員からの意見)

私のところでは、下にコンパネを引いて側はネットをかけて対応しています。

(事務局)

お話しいただいた内容について担当課へ伝達いたします。

(委員からの意見)

絶対に実現してほしいという話ではありませんが、助成金についてです。岩見沢でも多頭飼育の飼育崩壊がニュースになったことがありました。市によって飼い主のいない猫を不妊・去勢する上で、補助金があります。私の周りでは身寄りのない猫を引き取って、自分の持ち出しで不妊・去勢している方もおります。これは要望で絶対実践してくださいというわけではありませんが、例えば全員に補助するのではなく、要件を設けていいと思います。何か検討する機会があればお願いいたします。

(委員からの意見)

今のお話は野良猫に対してですか？

(委員からの意見)

野良猫もそうですが、飼い猫の場合、全部が申請して補助するとなると、大きな金額になるため、例えば年収に応じて補助する自治体もあります。北見市では年収に関する書類を提出し、補助額が決定するなど、ルールを決めて補助しております。また、野良猫の場合は申請したら全部ではありませんが、1万円ぐらいは補助すると

いう、必要以上に野良猫を増やさないための制度もありますので、もし、そのような話になったときに検討してもらえたらと思います。

(事務局)

お話しいただいた内容について担当課へ伝達いたします。

(2) 条例の社会情勢等との適合状況について

(事務局から説明)

条例第28条において、条例の施行から起算して5年を超えない期間ごとに、この条例の内容が社会情勢の変化等に適合したものかどうかについて検討し、その結果に基づいて必要な見直しを行うとされておりますが、より実情に即した条例になるよう、各年度の推進委員会にて、毎年議題として提起させていただいております。委員の皆様の検討判断について、よろしくお願いいたします。

(米内山委員長)

いかがでしょうか。特にご意見がないということでしょうか。

－意見なし－

社会情勢等との適合状況については、適合していると判断させていただきます。

4. その他

(米内山委員長)

では、議題4 その他として何かありますか。

(事務局から説明)

次回の話になりますが、昨年度もお話いただいたまちづくりのデジタル化の話について、市内の町内会でアプリを入れました。という話が新聞に載りました。また、岩見沢市でもDXを推進していく動きが急速に高まっており、私どももつい最近情報政策課とのヒアリングの機会がありまして、コンサルタントが入り、色々検討している段階となっております。

もう一点、昨年度もお話させていただいた中で、LINEを皆さん使用されていることから、LINEをどうやってうまく使っていきかが大事。という話が前回の会議の中でもありましたので、次回の会議では先ほどお話にもありましたオープンチャットも含め、LINEでどこまでできるのか。ということ整理しながら考えていきたいと思っております。また、前回の会議では、LINEを役員間で使うのは良い。という話が多い中、実際に町内会全体で使用するのはどうなのか。という話がありました。役員の間で使用する場合はLINEがいいよね。という話がある中、その機能をまちづくりの中でどうやってうまく使用していくかを考える上で、LINEで足りるのかどうか。という話も含めて次回はご協力いただきたいと思います。

(米内山委員長)

前回の推進委員会の中で、推進委員会の連絡LINEについてということで、資料が配布されていると思います。いずれにしても、この推進委員会としては、この推進委員会の中で情報の共有だとかやり取りだとか、そういったことについてもう少し突っ込んだ検討したいと思っております。そのことについては、前回も皆さんにご了解をいただいておりますので、これから市民連携室の事務局サイドの方で、いろんな取り組み状況等も参考にしながら、皆さんにすすめるもの、「こうやったら

いいよ」というようなものを会議の中でぜひ検討していきたいな。と思います。

現状、委員会という形式でその内部連絡にＬＩＮＥを使用しているところは私が知る限りありません。この推進委員会が多分スタートというか、市の取組みの中の委員会としては、初めてになるのかなと思いますので、そこからスタートしていけば、また色んなところに波及していくかなと思いますので、そのような形で次回は進めていくということでご了解いただけますか。

－異議なし－

では、現状におけるベストなものをぜひ段取りしていただいて、検討させてもらえかと思います。次回の日程について、事務局から何かありませんか。

（事務局から説明）

次回の委員会のおおよその予定についてですが、１１月中旬で会場の関係から１１月１２日か１９日で考えております。

（米内山委員長）

では、次回はデジタル、ＬＩＮＥを含めた情報共有、情報交換の中で検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。全体を通して何か意見はありますか。

（委員の意見）

JAXAに知り合いがおりまして、岩見沢市で何か講演のようなことをしたいという話がありました。地元の学校に相談したのですが、まだ実現に至っておりません。JAXAにどういう形をお願いしていいのかわからないため、皆さんのご意見を次回の推進委員会で伺い、何かいいアイデアというか、来ていただいてどういう講演にすればいいのか。ということ伺い、それをベースにJAXAをお願いしようかなと思っています。

（事務局）

お話しいただいた内容について担当課と調整の上、後日回答いたします。

5. 閉会